



◇東北電力出前講座

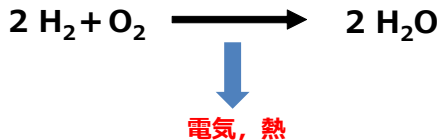
12月15日(金)、2年生と3年生を対象に、東北電力秋田支店企画管理部門(総務広報) 主任三ヶ田早紀さん、水戸一仁さんを迎えて、発電についての出前講座が行われました。東北電力管内で稼働している6種類の発電所について、モデルを使って発電の仕組みを解説していただいたり、実際に自転車や手回し発電機を使って自分の身体で発電したりしました。また、秋田火力発電所で栽培している草をペレットにしたものを燃料に混ぜて火力発電する実証実験についても詳しく説明していただきました。2年生は、今理科で勉強している内容だったので、大変興味をもって参加しました。3年生は、電気とエネルギーについて学習しているので、学習内容を深めることが出来ました。



◇燃料電池出前講座

12月21日(木)、2年生と3年生を対象に、産業技術総合研究所電気技術研究部門主任研究員(工学博士)安藤尚功さんをお迎えして、燃料電池についての講座が行われました。

燃料電池は、究極のクリーンエネルギーとして注目されている技術です。「電池」とは言っても、「発電」の方法です。水素と酸素から水を作るときに発生する電気エネルギーを取り出す仕組みです。化学反応式で表すと



となります。化学反応式から分かるとおり、電気や熱エネルギーを発生させた後は、水しか出来ず、二酸化炭素は発生しません。



生徒たちは、1セット5万円のキットを使って、燃料電池を組み立て、水素を注入して発電する実験を行いました。



◇「2050年の社会と私たちの暮らし」アイデア募集!

小学生・中学生のみなさんをお願いします。みなさんが社会の中心となる2050年。世界はどうなっていたらいいと思いますか。どんなことで地球温暖化をやわらげ、炭素をかぎりなく排出しない社会ができるでしょう。今まで言われてきたこと、取り組んできたこと以上に、もっといいアイデアを聞かせてください。日本環境教育学会では、小・中学生のみなさんから「2050年の社会とわたしたちの暮らし」というテーマで、アイデアを募集します。応募してもらったアイデアの中から選ばれた皆さんをご招待し、3月17日開催予定の大会(東京で開催)で表彰と対話の会を行います。環境教育を研究・実践する学会会員に、みなさんの声を聞かせてください。

1年生が全員応募します。2、3年生も興味のある人は、取り組んでみてください。

応募は <https://miraye.jp/jsfee2023/> から。1月20日締切です。

※入賞した場合、3月17日の大会への参加旅費は、学会が出してくれます。

〇2023年、大変お世話になりました。(職員一同)